

臨床研究の実施に関する情報公開

金沢医科大学では、研究倫理審査委員会の承認を得て、研究機関の長の許可のもとに下記の臨床研究を実施しています。

患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために患者さん本人の情報等を使用・提供されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。情報の使用等についてお断りになられても、患者さんに不利益となることはございません。

研究課題名	各眼内レンズのモノビジョン法による術後視機能評価
研究機関名	金沢医科大学
研究機関の長	学長：宮澤克人
研究責任者	金沢医科大学 眼科 佐々木 洋
研究期間	倫理審査委員会承認日 ~ 2025年 4月
研究参加拒否 申込受付期間	2025年4月30日 までにお知らせください。 上記の日付以降は、匿名化の処理を行い個人の判別が出来なくなるため研究対象からの除外は出来なくなりますので、研究参加の拒否をされる場合は期日までをお願いいたします。
対象者	2022年4月から2024年4月までの間に、金沢医科大学病院眼科で白内障手術を受けた18歳以上100歳未満の患者のうち、モノビジョン法を用いてレンズを選択し術後1か月検査を受けた患者さん
当該研究の意義・目的	眼内レンズ（IOL）の進歩は早く、単焦点IOLに加え、広い明視域を得られるIOLが多数登場しており、眼内レンズ挿入眼であっても老視矯正効果が期待できるようになってきています。老視が改善されれば、日常生活において眼鏡が不要になる可能性が高いです。IOL選択の際、左右の眼で屈折値に意図的に差をつけることで明視域を拡大するモノビジョン法も広く行われています。 目的：単焦点IOL、高次非球面IOL、低加入度分節型IOL、焦点深度拡張型IOL、3焦点IOL、連続焦点IOL、波面制御型焦点深度拡張IOLそれぞれの挿入眼における自覚的視機能、他覚的視機能、立体視機能、眼位などを検討します。この研究により、適切なIOLの種類や屈折値の選択ができるようになる為、患者さんに対してより満足度の高い白内障手術を行える可能性が高くなると考えています。
方法および研究で 利用する試料・情報 について	<ul style="list-style-type: none">・本研究は患者さんの電子カルテより、年齢、性別、自覚的視機能、他覚的視機能、立体視機能、眼位を評価します。・この研究のために、患者さんに新たな検査や費用が追加されることはありません。・研究データはデータ収集時に個人を判別できる情報を削除して行われる為、患者さんの個人情報外部に発信されることはありません。・研究によって得られた知的財産の所有権は研究組織および研究者に属します。・研究の成果は論文として白内障学会雑誌に投稿を予定しています。・集められた情報は研究発表後10年間保管され、その後適切な方法で破棄されます。・この研究ではヒトの生体試料は使われません。
外部への資料・情報 の提供	金沢医科大学から外部への提供はありません。
個人情報の開示に 係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の問合せ先にご相談ください。
利益相反について	この研究の計画・実施・報告においては、金沢医科大学利益相反マネジメント規程に則って、適正に行われます。また、この臨床研究にご参加いただくことであなたの権利・利益を損ねることはございません。

資料の閲覧について	あなたからのご要望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画や方法についての関連資料をご覧いただくことができますのでお申し出下さい。
問合せ先	その他、この研究に関するお問合わせは、下記へご連絡ください。 金沢医科大学 眼科 河上 帆乃佳 住所：石川県河北郡内灘町大学1-1 ☎：（代表）076-286-2211 内線（80521）

作成日： 2024年4月10日